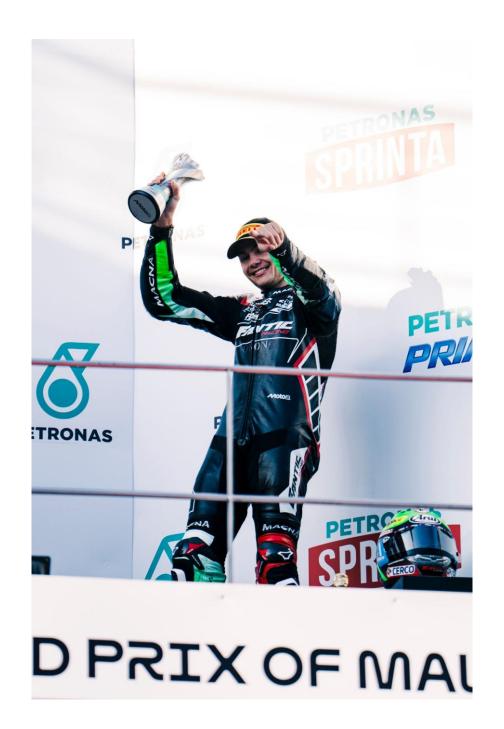


# マレーシア GP : バルタスがセパンで表彰台を獲得。 カネットはポイント圏内でフィニッシュを果たす

マレーシアでの激闘を経て、ファンティック・レーシングはバリー=バルタス が再び表彰台を獲得。チームランキング首位の座をさらに盤石なものとした。



MotoGP 第 20 戦マレーシア GP が、10 月 24 日から 26 日にかけてマレーシアのセパン・インターナショナル・サーキットで行われ、Moto2 クラスに参戦するファンティック・レーシングのバリー=バルタスが 3 位表彰台を獲得した。また、チームメイトのアロン=カネットも、ポイント圏内である 15 位フィニッシュを果たした。

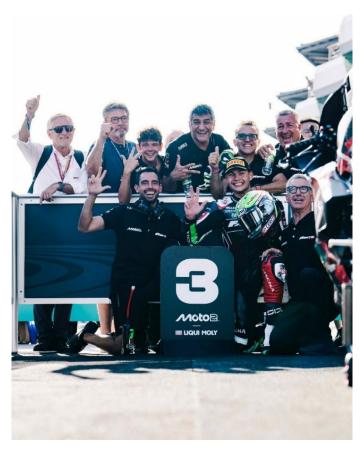
土曜日の予選(Q2)では、バルタスが2番手を獲得した。今年のマレーシアGPには、リアタイヤに昨年よりも1ステップ柔らかいコンパウンドがアロケーションされており、スーパーソフトによって、大幅にタイムが短縮された。バルタスも2024年までのオールタイム・ラップ・レコード(2分4秒412)を更新したライダーの一人で、2分3秒420を記録した。また、カネットも2分3秒625をマークし、8番手となった。

日曜日は、Moto3 クラス決勝レース前のサイティングラップで深刻なクラッシュが発生した。このアクシデントによって Moto3 のレースがディレイとなり、タイムスケジュールが変更されて Moto2 クラスの決勝レース後に行われることになった。

Moto2 クラスの決勝レースは現地時間 16 時 30 分にスタートしたが、2 周目に起こったジョー・ロバーツ(オンリーファンズ・アメリカン・レーシングチーム)のクラッシュ後、マシンを安全に撤去するために赤旗が提示されてレースは中断。当初のレース周回数は 17 周だったが、11 周に短縮されて再スタートとなった。

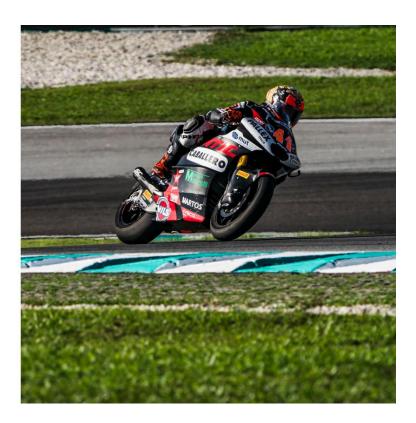
バルタスは1列目から好スタートを切り、序盤からトップ集団に加わった。34度という高い気温の中、タイヤマネジメントが難しい状況にもかかわらず、完璧にペースをコントロール。中盤にはマヌエル・ゴンザレス(リキモリ・ダイナボルト・インタクト GP)、終盤にはダニエル・オルガド(CFMOTO・RCB・アスパーチーム)をかわして、残り3周で3番手に浮上した。

そして、見事 3 位でチェッカー。今季 7 度目の表彰台を獲得した。バルタスはこのレース結果によってチャンピオンシップのランキング 3 番手に浮上した。ランキングトップとの差は 35 ポイントである。



一方、カネットは予想以上に厳しいレースを強いられた。8番手からのスタートで序盤にポジションを落とし、全力を尽くしたものの、厳しいコンディションの中でペースを維持するのが難しく、挽回することはかなわなかった。それでも15位でフィニッシュし、チャンピオンシップにおける貴重な1ポイントを獲得した。カネットはチャンピオンシップのランキングトップと43ポイント差の、ランキング5番手に後退している。

ファンティック・レーシングにとっては、ポジティブな結果となった。チームランキングでは依然としてトップを守り、残り2戦でランキング2番手のリキモリ・ダイナボルト・インタクト GP に対して、54ポイント差を築いている。2週間後となる次戦のポルトガル GP では、初のチームタイトル獲得に向けて、"マッチポイント"を迎える可能性がある。



第 21 戦ポルトガル GP は、11 月 7 日から 9 日にかけて、ポルトガルのアウトドローモ・インターナショナル・アルガルべで行われる。

#### バリー=バルタス:

「本当に素晴らしい週末だったよ。でも、正直言って、キャリアの中でも最も厳しい日曜日の一つだった。今朝 Moto3 で起こったことの数時間後、レースに集中するのは、本当に難しかったんだ。この表彰台は彼らに捧げたい。彼らが無事であることを願っている。

気温がとても高く、特にフロントタイヤのマネジメントが大きな課題だった。チームとともにうまく取り組んでいたので、僕は自分が走行中に何をすべきかしっかり理解していた。フロントが滑っても冷静に対処して状況をマネジメントし、最後までいいペースで走りきることができた。また表彰台に上がれて本当にうれしいよ。

チャンピオンシップにとっても素晴らしい結果だ。もし昨年、『タイトル争いをしているだろう』と言われたとしても、そんなバカな、と思ったはずだ。まだ戦いは終わっていない。それが本当に素晴らしいよね。この結果は家

族、ガールフレンド、そしてチームのためのものだ。今はしっかり休んで、残り2戦に備えたい1

## アロン=カネット:

「予想より厳しいレースになった。8番手からのスタートは簡単ではなく、全力で走ったけれど、思ったように順位を上げることができなかった。好ペースを維持するにはかなり厳しいコンディションだったけれど、重要な 1ポイントを獲得できてよかったよ。次に向けて前を向き、残り2戦に向けてしっかり準備を整えたいね」

## ロベルト=ロカテリ(チームマネージャー):

「バリーは短く、暑く、過酷なレースを見事にマネジメントし、3位という素晴らしい結果を獲得しました。困難な状況下で非常にポジティブなパフォーマンスを見せました。一方のアロンは、序盤の数周で他車との接触があってポジションを落とし、短い周回数で挽回するのは非常に難しかったです。

次戦のポルティマオは、アロンが昨年優勝した特別なサーキットです。シーズンを最高の形で締めくくれるよう、 二人のライダーとともに臨みます」

## ■ Moto2 クラス チャンピオンシップ ランキング

	ライダー	チーム	バイク	ポイント数	トップとの差
1	D.モレイラ	Italtrans Racing Team	KALEX	256	
2	M.ゴンザレス	LIQUI MOLY Dynavolt Intact GP	KALEX	247	9
3	B.バルタス	Fantic Racing	KALEX	221	35
4	J.ディクソン	ELF Marc VDS Racing Team	BOSCOSCURO	215	41
5	A.カネット	Fantic Racing	KALEX	213	43

## ■ライダープロフィール

#### アロン=カネット

1999 年 9 月 30 日生まれのスペイン人。2016 年にロードレース世界選手権 Moto3 クラスデビューを果たし、2019 年にはランキング 2 位を獲得。2020 年、Moto2 クラスにステップアップ。2024 年にファンティック・レーシングに移籍し、ポルトガル GP で初優勝を飾った。このシーズンは小椋藍に次ぐランキング 2 位を獲得。2025 年、チャンピオン獲得を目指す。

目下、最大の目標は「世界チャンピオンになること」。幼少期は父親からカートを与えられたが、「バイクのほうがいい」と言って乗り始めた。その当時からゼッケン「44」を使用している。

## バリー=バルタス

2004 年 5 月 3 日生まれのベルギー人。2020 年に Moto3 クラスデビュー。2022 年に Moto2 クラスにステップ アップした。初表彰台は 2024 年のカタール GP。この年、オートレース宇部レーシング・チームから鈴鹿 8 耐に も参戦している。2025 年、ファンティック・レーシングに移籍し、表彰台の常連になりつつある。なお、9 月 13 日に 2026 年もファンティック・レーシングから Moto2 クラスに参戦することが発表された。

バルタスの父親がバリー=シーン(伝説的イギリス人 WGP チャンピオン)の大ファンで、そのためにバルタスは「バリー」と名付けられた。ゼッケンの「7」もこれに由来するもの。







®MESPIC Abrex-System M=N FOR MEC TRANSANTOLIN JOIN





